

## 今一度、講座運営&事業運営について

令和2年9月25日  
講座総括担当(鎌田)

第7回理事会(9月6日開催)における中心議題は檀原教室応用科および研修科の実施についてでしたが、派生した問題として「受講生第一」「会員は小さなコマ?」そして「六樹会パソコンサロンのあるべき姿とはかけ離れてきている現状」がありました。

議事録に掲載されている通り時間不足のために完全な意識合わせが出来ていないところです。これらのテーマは、講座運営および事業運営の基本事項であり、講師であり理事である皆さんと完全なすり合わせが必要なところです。

すでに理事会から約3週間が立ており、その間議事録の整理等があり、様々な思いをめぐらしたことかと思いますが、今日は一人一人ご自身の考えを明確にお話してください。そしてテーマがテーマですから、あまり時間をかけても堂々巡りになりますから、最終的に理事長の横尾さんに取りまとめを頂き、意識合わせが出来ればと思います。

なお、以下は前回の議案集の一部です。私の基本的な考えは変わっていません。よろしくお願いします。

### (1) 受講生第一について

常々、「受講生第一」と話していますが、時と場合と受講生によるのではないのでしょうか。

山下さんから頂いたメールの中に、基礎科中止の判断の後に応募者の中で少しパソコンの経験のある方に研修科の受講を進められたお話がありましたが、私は応募された受講生からも事業運営からも当然勧誘をされるべきかと思います。香芝教室の基礎科の再開についても同じですが、宇陀教室に戻して話せば、その後対応した賀来さんはパソコンおよびプリンターを購入しての受講であり問題がないところです。また、もう一人の男性と対応をしましたが、マイペースで約束が守られない方であり、数度の対応の結果、私からご辞退をお願いしたところです。

檀原教室基礎科は、この1年半の様々なことがありました。今回の受講生の取りまとめにおいても、宇陀教室、香芝教室は大半の方からはすぐに返信がありましたが、檀原教室はすぐに返信があったのはわずか4名です。やはり日頃の受講生とのメール交換に問題があるのでしょうか。

いつも「受講生第一」と言いながらも受講生一人一人について、受講生を尊重しながらも講座運営及び事業運営からの判断も加えて対応する必要があると思います。

### (9月25日追記)

「受講生第一」と言っても、やはり受講生一人一人の対応方法を考える必要があるのではないのでしょうか。講座の理解レベルは問わず熱心に自宅学習を行い、添削メールをキチンと出され、メールにもすぐに返信が来る受講生には正面から対応が必要でしょう。

受講生との連絡はメールを基本としているところですが、次の講座までメールを見ることもなく、自宅学習もおなざりである受講生の対応はそれなりで良いのではないのでしょうか。人生経験豊富な受講生に首に縄を付けて引っ張ることは難しいでしょう。

(2) 「六樹会の会員」とは

岡田さんのメールの中で「私たち、六樹会の会員は、小さなコマです。」とのコメントがありました。この様に思われているとは全く想像していませんでした。

確かに、私は発足当時から事務局長としてまた講座運営担当として先頭を歩かせて頂いていますが、常々、「身障者の私がこのような活動が出来るのは皆さんの協力があって初めて出来る」とお話しているところです。そして、出来限り講師会および理事会を開催して皆さんのご意見をお伺いして進めている所ですが……。残念です。

(3) 「六樹会パソコンサロンのあるべき姿」とは

また、藤崎さんのメールの中で「NPO法人である「六樹会パソコンサロン」のあるべき姿とはかけ離れてきている現状を前に大変辛く悲しい思いです。」とありますが、あるべき姿とはどのような姿でしょうか。今回はよい機会ですから、皆さんのご意見をお聞きしたいところです。

今回の判断は、事務局長および講座総括担当を担当している私からは、当然事業運営および講座運営からの判断が優先された結果で、皆さんとの判断と大きくかけ離れてしまい、皆さんから様々にご意見を頂くとともにご不快な思いをさせてしまいました。

母親を認知症で亡くなりましたが、最近言葉が出ない状況であり、先日の宇陀教室においては山下さんのサポートを受けた状況です。発足以来先頭を歩ませているところですが、皆さんのお考えが大きく違っている現状からは事務局長および講座総括担当の席を離れるべきかと思います。適任者を選んで頂き、バトンタッチをさせて頂き、私は、受講生にサポートに専念したと思いますから、よろしく願います。(正直言って、今回は精神的にも肉体的の少し疲れしました。)

(9月25日追記)

会社組織の縦社会に対してボランティア組織は横社会です。会員一人一人がその活動において平等であり、会員の意見は尊重すべきでしょう。

とは言え、定款に示されている通り組織は理事・監事と会員に分かれます。そして理事の中は、理事長、事務局長、会計、書記、教室担当とそれぞれの役割があり自ずとその責任は異なります。理事一人一人がその役割を自覚し責任を果たし、そしてお互いを認め合っ楽しい活動を進めたいものです。